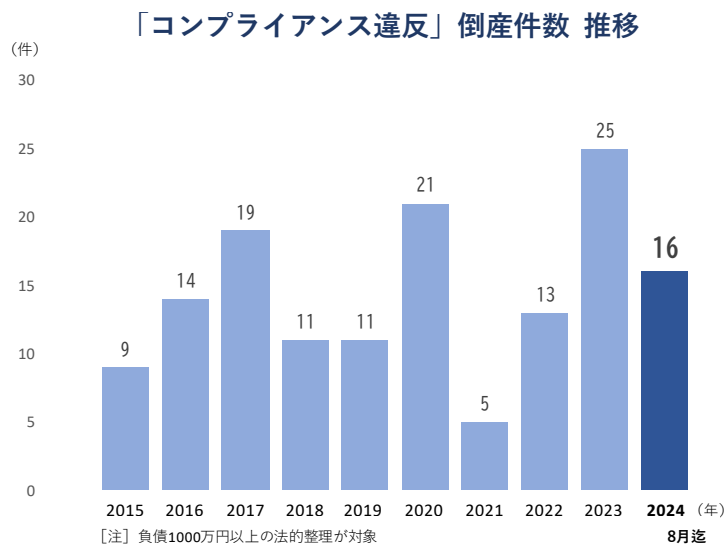


コンプライアンス違反企業の倒産動向調査（神奈川県）

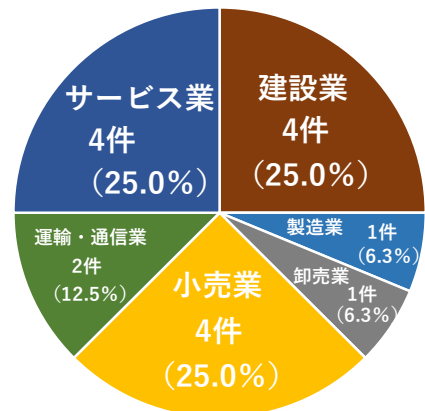
コンプラ違反倒産、高水準で推移 ～大型倒産も複数発生～

近年、中古車販売の旧ビッグモーターや複数の自動車メーカーにおける不正問題、世紀の大粉飾と言われ金融機関を震撼させた堀正工業の破産事件など、企業のコンプライアンス違反が注目を集めている。

帝国データバンクでは、売り上げの架空計上や融通手形などの「粉飾」をはじめ、法律違反に伴い行政処分を受けるなどの「業法違反」、所得・資産の隠蔽などの「脱税」のほか、コンプライアンス違反が取材により判明した企業の倒産を「コンプライアンス違反倒産（以下、コンプラ違反倒産）」と定義。神奈川県内における、2024年8月迄の同倒産（法的整理のみ、負債1000万円以上）について分析した。



業種別の内訳（2024年）



注1:「コンプライアンス違反」は、意図的な法令違反や社会規範・倫理に反する行為などを指す
 注2:同一企業に複数のコンプライアンス違反がある場合は、主な違反行為で分類

株式会社帝国データバンク 横浜支店 情報部

【問い合わせ先】 横井 大士

TEL 045-641-0380 FAX 045-641-2555 E-mail daishi.yokoi@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

「コンプライアンス違反倒産」、2024 年は 8 月迄の累計で 16 件、増勢を保つ

2024 年の「コンプライアンス違反倒産」は、8 月迄の累計で 16 件を数えた。前年同期（2023 年 1 月～8 月で 17 件）と同水準で推移し、年間最多の 2023 年（25 件）に迫る勢いとなっている。

業種別（大分類）にみると、「建設業」「小売業」「サービス業」が各 4 件（構成比各 25.0%）で並び、「運輸・通信業」が 2 件（同 12.5%）で続いたが、幅広い業種で発生している。

違反類型別にみると、「資金使途不正」が 4 件（構成比 25.0%）で最も多かった。次いで「偽装」が 3 件（同 18.8%）、「脱税」「雇用」「不正受給」が各 2 件（同各 12.5%）と続いた。2020 年以降のゼロゼロ融資等の各種支援策の効果もあり、表面化しづらい状況が続いていたが、アフターコロナで資金調達環境や経済環境が変わるなかで、2023 年は前年から約 2 倍となる

違反類型 内訳（2019 年～）

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
粉飾	2	6		1	3	1
業法違反	3	3	2	4	3	1
資金使途不正	1	2		6	7	4
脱税		1			1	2
雇用		1		1	1	2
偽装					1	3
不正受給	1		1		2	2
不法投棄		1			1	
その他	4	7	2	1	6	1
合計	11	21	5	13	25	16

25 件に増加し、2024 年も高水準で推移している。また、近年のコンプライアンス違反に端を発した倒産企業のなかには、負債額が 10 億円を超える大型倒産も複数みられ、金融機関をはじめとする多くの取引先を巻き込むケースも相次いでいる。そのほか、コロナ禍の雇用調整助成金などの各種補助金・支援金の「不正受給」も継続して発生している。

県内の主なコンプライアンス違反倒産

株式会社寿食品（200164573） 食堂運営受託、学校給食 2024年6月破産	2023年9月に実施した川崎市教育委員会の検査により、学校給食食材の豚肉について外国産を国産と偽り提供していたことが発覚。神奈川県警が家宅捜索に入るなど信用が失墜。 負債：約14億8000万円
株式会社T R A I L（247012578） 一般貨物自動車運送 2023年3月破産	主要取引先を介し、業務委託元に対して不正な水増し請求をしていたことが発覚。主要取引先の倒産により多額の不良債権が発生するとともに、当時の代表者が詐欺の疑いで逮捕。 負債：約39億4400万円

まとめ

神奈川県の倒産件数は 8 月までの累計で 349 件に達し、増加傾向が顕著となった昨年（8 月までの累計 339 件）を上回るペースで推移している。こうしたなか、全国的にも増加傾向にあるコンプライアンス違反に端を発した倒産は、県内でも高水準で発生している。

コンプライアンス違反に対する社会の目は厳しく、ささいな違反でも信用が大きく失墜する事態になりかねず、企業経営者にはあらためて法令順守による健全経営の意識が求められている。